

気まぐれコラム 母、時々会長

Vol.1 PTA 活動と仕事の両立



「PTA 役員なんてわたしに出来るのかな？」そんな不安を持つ方が大半なのではないでしょうか。くじを引いた時はわたしも同様でした。他のメンバーもそんな表情で立ち尽くしていた光景を今でも記憶しています。

でも決まったからにはやるしかなく、どうせやるなら出来ることはやっていきたい。

そう思っていたら、

出来ることやその時間が限られているからこそ、その中で役割分担をして、

「出来ることを出来る人が出来る範囲でやっていこう」

というのが、全員がワーキングマザーである 4 役全員の一致した意見でした。

仕事を持ち、母親業をこなし、その中で PTA 活動を行う。

言葉で見ると息つく暇もなさそうに思いませんか？…でも、今現在わたしたち 4 役はこなせています。

作業のために集まれる日も時間も、得意なことも苦手なこともバラバラ。それを「出来ることは何だろう」「どの方法なら出来るだろう」と考え行っていく。行動科学のソリューションフォーカスアプローチという手法です。これを使うと本当に物事がうまく運ぶ結果が出るのです。

そして、最大の味方は家族でもあります。

わたしは基本的に自宅で仕事を行っており、夫はほぼ不在。子どもたちに協力を求めることがとても多いです。母だからって我慢ばかりすることはなく、むしろ味方になってもらっています。PTA からの手紙を受け取るたびに「田中美和の手紙があるで！」と嬉しそうにしてくれます。会長をしていることを喜んでくれているからこそ、協力もしてくれるのかもしれないね。

このように、誰が欠けても成り立っていないと思われる 4 役メンバーのサポートと、家族の可愛く嬉しい協力を受けながら、PTA 活動も仕事も母業も出来る限り楽しんでいきたいと思っています。

